



生活とやりたい保育 両立させたい



労働組合と 19国民春闘で 一歩でも

「自分の生活となると 目も当てられない」

福祉保育労つくしんぼ保育園分会

村山咲さん

8月給与		165,200
基本給		7,425
各種手当		20,000
住宅手当		192,625
	支給計	42,447
健康保険料他		10,176
その他の控除		52,623
	控除計	140,002
支給額		

茶色に色づく街路樹。大きな園庭で自分たちが育てたさつま芋を焼き芋にして、美味しそうにほおぼる子どもたちから「美味しいー」と歓声が上がります。保育士の村山咲さんが勤めるつくしんぼ保育園は群馬県藤岡市にあります。

「アイヌの踊り、沖縄のエイサー、岩手のしし踊りなど様々な文化を伝える中で多様性を育む保育実践にがんばるこの保育園が好き。民舞の研修は本当に楽しくって、もっと知りたい、伝えたい。やり甲斐と誇りをもって働けていると思う」

**やりがいと裏腹の生活
休みが取れない**

村山さんは、学童保育の指導

員から保育士に転職して4年目。仕事のやりがいは裏腹に「自分の生活となると目も当てられない」と言います。朝8時には職場に来て、記録や事務作業を終えて帰るのは夜8時〜10時。家に帰るとそのまま倒れ込み、持ち帰りの仕事を片付ける。土日は行事の準備や下見、会議や研修、動物の餌やり、日直など、自分の記録では昨年の完休は68日。「子どもたちの笑顔のために生活と身体を酷使する」現実です。

**低い賃金で人手不足
友達つきあひも減って**

給与といえば、住宅手当2万円込みで手取り月14万円程度。年間一時金が5カ月位あって「何とか一人暮らしをやっている」と言います。「自分の時間が無いと物欲もなくなる。服もほしいと思わなくなるアハハ……」友達つきあひも減って

社会や政治への関心も薄れる」。やりたい保育実践と生活の狭間で心が揺れます。

福祉保育労の職場分会で執行委員の村山さん。19国民春闘の要求づくりでは、「給与が低い。休日がほしい。事務仕事が多すぎる。人手が足りない」など声があがります。これからパートの同僚の声も聞いて、さらに絞り込み、団体交渉につなげると話します。この間はストライキ行動もやって、一昨年は「父母懇談会の手当」、昨年は「運営委員会の昼間開催」に改善させました。そして、昨年はがんばってきた社会的な運動で保育士処遇改善があり「まだまだ足りないけど、自分も月1万円くらい、給与が上がった」と言います。

**労働組合があるから
改善していける**

近くの労働組合のない保育園では、「休みが今年はまだ27日

と聞き、「権利や働き方を学び、情報を得て、愚痴を言いながら、自分を犠牲にしない働き方に一つひとつでも改善していけるのは労働組合があるからだと思う」と話します。

福祉保育労働組合によれば、保育士の給与は全産業平均から月10万円低い水準。平均の勤続年数は8年と短い。低い人員基準、慢性的な人手不足で「身体の丈夫な人、家族的条件のある人でないといけない仕事になってしまっている」と村山さんは語ります。「生活とやりたい保育を両立させられる職場にした」。村山さんの19国民春闘ははじまっています。

2019 国民春闘 スローガン

かちとろう 大幅賃金引き上げ、8時間働いて人間らしく暮らせる社会
とめよう 安倍9条改憲、消費税増税
職場と地域からの共同のたたかいで、未来を切り拓こう

2019年国民春闘

消費税上げるな! 賃金上げろ! 憲法変えるな! 政治変えろ! 当事者の声で、世論を動かす春闘に

春闘方針(案) ダイジェスト

国民春闘は、賃金や労働条件向上要求をかかげ、統一ストライキや全国的な統一行動方針に交渉を実現させて、その成果を全国の労働者に波及させたいです。ナショナルセンターや産別が統一要求をかかげ、全組合員参加と地域の団結(たたかろう)で多くの前進を遂げてきました。

春闘案でも予算や重要法案が審議されます。安倍政権の下、実質賃金は約10%低下、長時間労働、たたかきに歯止めがかかっていません。低賃金・不安定雇用の非正規労働者が増加続けています。一方、企業の内部留保は4.5兆円に達し、第2次安倍政権以降に約1割も増加しています。

2019年10月に行われる安倍政権は「憲法改正」と宣言しました。過労死ラインの残業月100時間未満の合法化、高度プロフェッショナル制度などの労働法の規制緩和も強行しています。人権無視の外国人技能実習制度を放置したまま、拙速に入管法の改正をほかり、外国人を賃金のままに手不足の理由に使うこともしています。

大幅賃上げ・長時間労働是正、改憲ストップの実現を

全労連の19春闘は、5つの重点を構えたたたかいます。

大幅賃上げと最賃闘争に全力

①は、賃金要求です。すべての労働者のベアアップで実質賃金の減収分を解消する賃金の大幅引き上げと最低賃金引き上げなどの社会的賃金闘争で賃金上げをめざします。要求書の提出

アベ「働き方改革」に総反撃

②は、アベ「働き方改革」への総反撃と職場での交渉で、改悪された労働法制を職場に持ち込まず、真に「労働者のための働き方改革」の実現をめざします。職場では、36協定の特別条

改憲発議は絶対させない

③は、安倍改憲を許さず、改憲発議と戦争の国へへりやストップさせるために総力をあげます。19春闘が改憲発議を最大の山場です。「安倍の改憲を許さない」の一点の共同をひらき、3000万人署名を呼びかけます。沖

消費税10%への増税反対

④は、10月の消費税10%への増税中止です。消費不況が続く中で、「10月実施に反対」の一点の共同をひらき、増税を止めさせます。「社会保障のため」をうたっていますが削られるばかりで、企業にのみ負担を求めます。

要求と組織拡大の結合

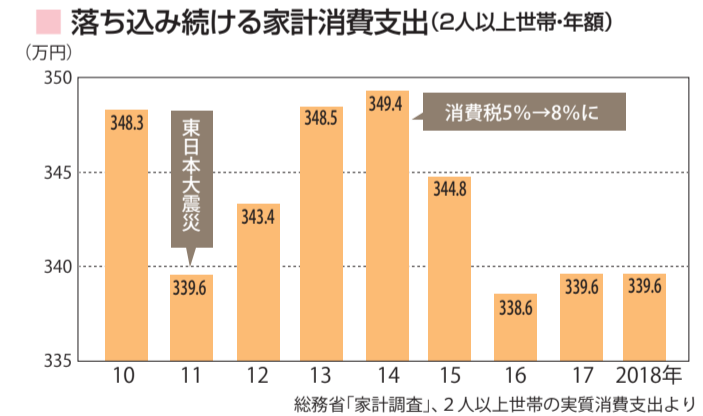
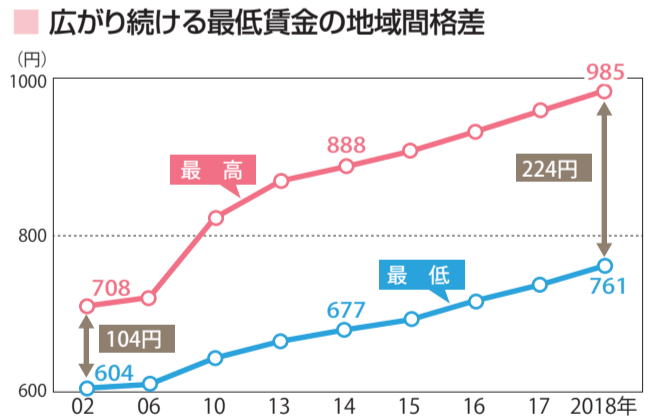
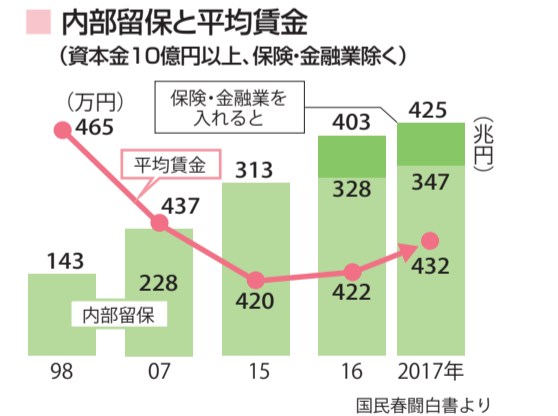
⑤は、1500万全労連の実現をめざす「組織拡大新4年計画」の推進です。要求実現の最大の力は当事者が声を上げることです。労働組合の要と運動の見え方を、新入職員の加入

社会的賃金闘争の前進で展望を開く

統一行動への全組合員参加を、19国民春闘の最大の山場は、3月13日の回審指定日、14日の全国統一行動日です。また、地方選挙(4月)、参議院選挙(7月)があります。職場から要求の練り上げ、要求提出、トレーニング、パンフレットで職場活

統一要求

- 賃上げ要求(案) 月額25,000円以上、時間額150円以上
- 最低賃金要求(案) 時間額1,000円以上、日額8,000円以上、月額176,000円以上
- 底上げ要求(案) すべての働く人々の底上げを実現し、時給1,000円未満の人をなくす
- 時間外労働 時間外労働の上限は、週15時間、月45時間、年360時間とすること
- インターバル規制 勤務時間インターバルは、24時間について11時間以上とすること
深夜勤務や変則勤務の場合は、労働時間を短縮すること



最賃アクションプランとは...

地域経済を疲弊させる原因のひとつが「地域間格差」です。その格差をなくすために、全労連では、地域最低賃金を定めた最低賃金法を改正して、全国一律最低賃金制を実現する大運動を、組織をあげて取り組んでいます。

19春闘 「こ」に期待します

労働者が主役の団体交渉でたたかいます

「日勤は4日続くと限界」「多少きつなくても夜勤の方が良い」命を救う医療現場では深刻な人手不足と長時間労働が増え、過労死も起きています。生活と生命を守る春闘が今求められています。現場で起きている事実は誰も否定できません。36協定遵守と特別条項撤廃を要求し労働者が主役の団体交渉、屋外集会を実施したたかっています。

日本医労連 北海道医労 伊藤賢太さん

生活できる賃金アップを求めます

共立社では慢性的な人員不足です。パート職員の一時金を繰り入れた時給にしましたが、あまり応募は来ていません。また、入社しても長く続かない現状です。原因は運営と若手職員の低賃金です。19年春闘の要求は生活できる賃金アップです。アンケートを基に、執行委員会で意見を出し合いベースアップに向けて頑張ります。

生協労連 共立社労組 竹田佳代さん

全組合員が春闘に取り組み、勝利したい

アベ政治のもとで生活がますます悪化(雇用の不安定化、社会保障改悪など)する中での19春闘は、賃金・最賃引き上げの要求を中心に取り組みたいです。兵庫の自治体すべてに最賃請願を出すことに今春闘は挑戦します。職場では「全組合員が春闘の取り組みに関わること」にこだわり、19春闘を勝利したいですね。

兵庫労連 土井直樹さん

だれもが働きやすい職場をつくりたい

青年教職員は、多忙な学校現場で長時間過労労働やハラスメントに苦しんでいます。教職員を増やし、だれもが働きやすい職場をつくるのが重要な要求です。アンケートで声を集め、文科省との交渉で定数増とハラスメントの解消を要求していきます。私たちが安心して働き続けられる学校は、子どもたちにとって良い学校です。

全日本教職員組合 市塚絢子さん

仕事にみあった賃金をみんなで要求

今年は日本全体の製造業が忙しくなっている影響で会社の業績も好調です。ですが会社の業績が良い分、私達の仕事も忙しく大変です。そんな状況でもなんとか仕事を頑張ってきたので19春闘ではベースアップを最も強く要求していきます。JMITUの組合員だけではなく第二組合の組合員も巻き込んで要求していきます。

JMITU 愛知地方本部 川本製作所支部 本吉真由さん

手をとり合って 要求実現

組織拡大・強化

粘り強い交渉と 地域への情報発信 飼育員の専門性訴え



自治労連
東京公務公共一般労組
江戸川動物園分会

非正規率9割から い止め阻止、全員正規化実現 賃金・労働条件改善へ

東京公務公共一般労組江戸川動物園分会は、2012年2月に結成されました。職場は1983年に開園した東京都江戸川区の行船公園にある自然動物園です。ところが、労働組合が結成された翌月に不当にも組合役員が配転されました。しかしその後の粘り強い取り組みで、職場復帰を勝ち取ることも、2018年4月には非正規職員全員の正規職員化を実現させました。

専門性高い飼育員 非正規のままではいいの

分会を結成した直後、飼育員として勤務していた組合役員が不当配転となり、配転無効を求めたたたかいが始まります。ビ

ラまきや労働委員会への申し立て、その後の裁判闘争と立て続けのたたかいに心が折れることも。しかし、「もっとよい動物園にしたい」「専門性の高い飼育員が非正規のままではいいの」か」との強い思いが仲間の心を

奮い立たせてきました。

また、「配転問題だけ訴えても理解や支援は広がらない」と気づき、飼育員の仕事と専門性、無期転換させない5年雇い止め問題を紹介するリーフレット(ZOOKEEPER)を作成すると、住民から「非正規だなんて知らなかった。がんばって」と声援や署名が届くようになりました。

2014年9月に東京都労働委員会が救済命令、10月には地裁で勝利判決、翌年3月には高裁でも勝利し、組合役員を職場復帰させました。

正規と非正規がともに たたかいたった成果

専門性の高い飼育員の仕事ですが、江戸川区自然動物園では非正規職員が飼育員の9割を占めていました。そこで、上部団体・自治労連を通じ、近隣の公立動物園における非正規率を調査しました。なんと驚くほど、

自分たちの職場が突出して高いことに愕然とします。当然、賃金・労働条件も低い状態でした。こうして財団当局との交渉で追及を始めるとともに、労働委員会や裁判闘争の中で訴えることにより、区議会でも取り上げられるようになりました。

この結果、2016年で5年経過した職員の雇い止めを阻止し、2018年4月にはすべて有期契約労働者の正規化を勝ち取りました。

公務公共一般労組の松崎真介書記長は「正規職員化は、正規と非正規の仲間が固く手を取ってたたかいたった成果です。粘り強い交渉と地域への情報発信、全国の動物園労組の協力、地域からの支えが重要だった」と語ります。

職場では、労働組合として住民と動物のために人員体制の充実や職場改善を求めて取り組む決意が語られています。

19 国民春闘スケジュール

1月 【闘争宣言・要求の確立期】

- 8日 新春宣伝行動
- 11日 単産・地方代表者会議
- 16日 春闘闘争宣言行動(厚労省・経団連包囲行動)
- 23日 労働法制討論交流集会
- 30日 19国民春闘総決起集会(東京春闘共闘と共催)

2月 【要求の提出期】

地域総行動、各種訪問行動、地方議会要請など

3月 【要求実現期・交渉集中ゾーン】

- 7日 国民春闘要求決起集会(中央行動)・銀座デモ
- 13日 回答集中日
- 14日 全国統一行動日

4月 【回答引上げ期】

上旬・下旬 統一地方選挙

5月 【回答引上げ期・国民要求実現運動期】

1日 第90回メーデー

6月 【最低賃金引き上げ・公務労働者の賃金引き上げ、地域間格差解消運動期】

下旬 最低賃金・公務員賃金 中央行動 国会デモ

7月 【第3次最低賃金デー】

参議院議員選挙